

6年生に感謝とお礼の気持ちをこめて 素晴らしい「6年生を送る会」をありがとう!!

卒業式を来月に控えた6年生に感謝とお礼の気持ちをこめた「6年生を送る会」を2月22日に開催しました。今年も大勢の保護者や地域の方々にお越しいただき、温かい雰囲気の中で「6年生を送る会」となりました。

振り返ってみると、今年度もあと1ヶ月足らずです。4月8日に65名の児童と共にスタートした西大路小学校でしたが、どの子ども着実に成長することができました。「6年生を送る会」は、卒業する6年生への感謝の会というだけではなく、全校児童が発表を通じて自分たちの1年間の成長の証をお家の方々や地域の方々にお見せする場でもあるのです。

今年は全学年が劇に取り組んでくれました。どの学年もクイズや合唱、合奏を取り入れたとても工夫した内容になっていました。特に、今年1年間で自分たちが学習したことや6年生の子どもたちの様子を劇の台詞の中に取り入れるなどよく考えた発表でした。



1年生「11匹のねこ」

まず、1年生は「11匹のねこ」というミュージカル風の演劇に挑戦しました。かわいい猫が大きな魚を捕まえて食べる場面が印象的でした。4月の入学時からするととても成長した姿を見せてくれました。

2年生は「5匹の子ヤギ」の中で、小さなヤギたちが「6年生のように運動や勉強ができるようになりたい!!」「6年生のようにもっと本が読みたい!!」という台詞を披露し、憧れの6年生の姿を紹介してくれました。



2年生「5匹のヤギ」

また、3年生は「はりねずみと金貨」で、冬を越そうとするはりねずみがみんなの優しさに助けられ、拾った金貨を誰かのために役立てようとそっと道ばたに置いておくというお話でした。動物たちの衣装がとても素敵で、優しさ一杯の発表でした。

4年生の「ブレーメンの音楽隊」は、おなじみの民話ですが、子どもたちがよく考えてアレンジしていました。ストーリーを残しつ

つ、ユーモアを交えた場面やテレビのネタを取り入れた発表でした。

最後の5年生の「西大路最高裁判所～三太郎の判決はいかに～」は、少し切り口が変わった発表でした。さすが、次の西大路小学校を支える子どもたちです。桃太郎、金太郎、そしてピコ太郎を題材にして、低学年の子どもたちにもわかるように工夫されていました。そして、裁判の最後に6年生担任の岡崎先生が登場したのも「6年生を送る会」ならでわでした。



3年生「はりねずみと金貨」



4年生「ブレーメンの音楽隊」



5年生「西大路最高裁判所」



6年生「もしも過去をかえるなら…」という発表でした。とてもレベルの高い作品にびっくりさせられました。

最後に、5年生から6年生にお祝いメッセージがプレゼントされ、6年生からは団旗が手渡されました。こうして、今年も西大路小学校の良き伝統が引き継がれた「6年生を送る会」が終了しました。(校長 深井 実)

多くのの方々から「素晴らしかった!!」「上手やった!!」という感想をいただきました。このような感想が、また、子どもたちの意欲や頑張りに繋がっていきます。

一方、6年生の「もしも過去をかえるなら…」は、子どもたちが台本から考え、自分たちの小学校での出来事を振り返った作品でした。「これまでの担任の先生も雨のフローティングスクールもみんなそのままがいい。いろんな先生に出会ったことやいろんな行事で出会った人たちがいたからこそ今の自分たちがあるんだ。6年間に感謝!!」という発表でした。

